

横瀬川ダム建設に伴う
環境影響について
3. 地形地質

地形及び地質の調査項目及び予測項目

調査項目

地形及び地質の概況

重要な地形及び地質の分布、状態及び特性

予測項目

重要な地形及び地質への影響

- ・重要な地形及び地質の分布を図示し、予測対象に与える影響について類似の事例や既往の知見を参考に予測する。

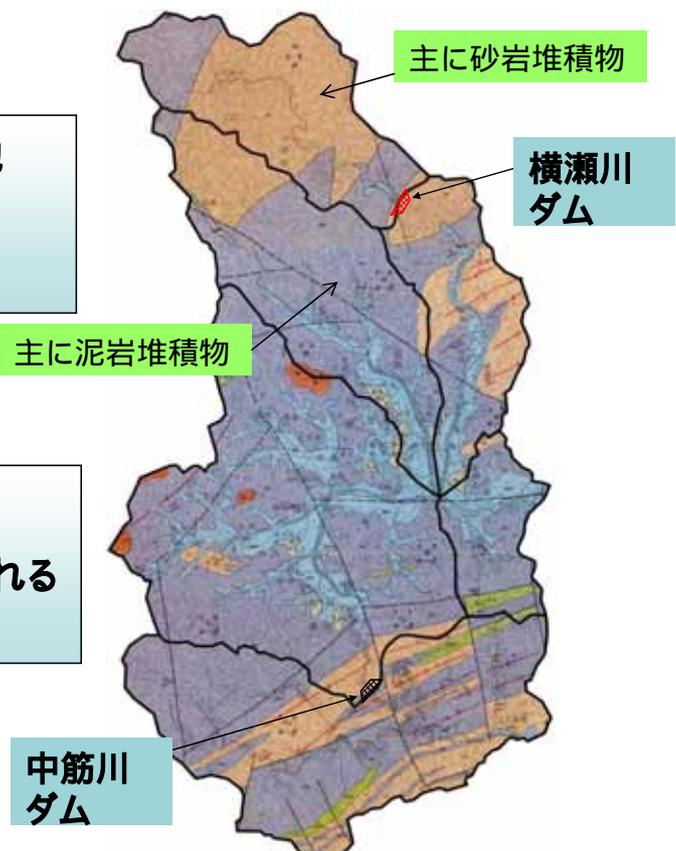
地形及び地質の概況

地形の概況

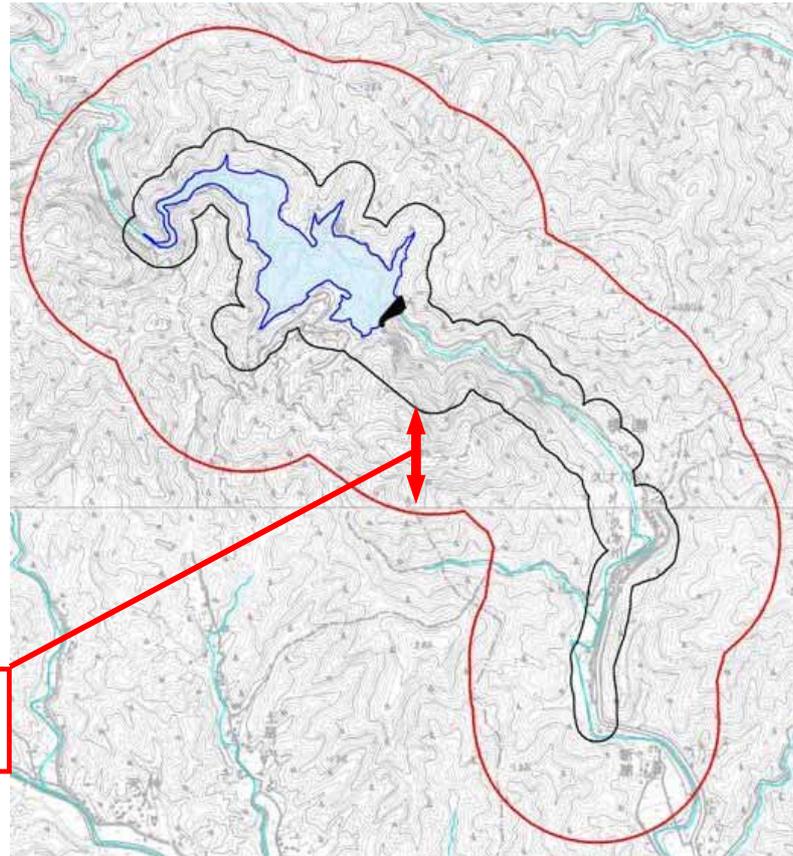
- ・横瀬川流域は大部分が中起伏山地
- ・横瀬川ダム貯水池付近及びダム下流部に谷底平野

地質の概況

- ・四万十帯に属す(中筋川流域全体)
- ・横瀬川流域は砂岩と泥岩で構成される
- ・ダム付近は砂岩が分布する



地形及び地質の調査・予測地域



対象事業実施区域から
おおむね500m

重要な地形及び地質の選定基準

1. 必ず環境影響評価の対象とするもの
以下の法令で指定された地形、地質
 - 文化財保護法、地方公共団体における条例で指定された天然記念物
 - 世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約
 - 自然環境保全法
 2. 必要に応じて環境影響評価の対象とするもの
 - 公的機関によって定められた重要な地形及び地質
 - 関係地方公共団体、専門家、その他当該情報に関する知見を有する者の意見、文献をもとに選定できる重要な地形及び地質
- 化石や地層の模式地や学術的に重要な化石等の産出地で代替箇所のない重要な地質

(出典:ダム事業における環境影響評価の考え方)

地形及び地質の調査結果

重要な地形・地質の分布

調査に用いた資料及び法令

- ・文化財保護法及び地方公共団体の指定する天然記念物
- ・世界文化遺産及び自然遺産に関する条例
- ・自然環境保全法
- ・自然環境保全調査「すぐれた自然図」(地形・地質・自然現象)
- ・自然環境保全基礎調査報告書
- ・日本の地形レッドデータブック

調査地域内に該当する地形・地質は確認されなかった



予測対象は存在せず、環境への影響はないと考えられる